

第5回 学習活動の基礎的知識(2) 情報収集

資料や情報の収集への取り組み方

1. テーマに関する全般的な知識や動向を調べる
2. テーマに関する基礎的な知識や専門用語などを調べる
3. テーマに関する最新の知識や動向を調べる
4. テーマに関連する他の分野の知識や情報を調べる

調べ出した資料や情報は、メモしたり、コピーまたは印刷して、記録として残して整理しましょう。

- 文献などの資料: コピーをしたり、「文献メモ」を作成しておく
- ネット上の情報: 印刷したり、ブラウザの「お気に入り」に追加しておく

質問

各種資料やネット上の情報を記録するときには、どのような項目を記録するとよいのでしょうか？
資料の種類によって、項目を考えてみましょう。

資料収集

資料の種類

- 参考図書(レファレンス・ブック)
 - 辞書、事典、百科事典、年間、統計資料、白書、文献目録など
 - 学問全般について知りたい場合は、事典類(百科事典、分野別の事典)が役立つ
- 新聞
 - 一般紙(全国紙: 毎日、読売、朝日、産経、日本経済、地方紙: 神戸新聞など)
 - スポーツ紙・レジャー紙(日刊スポーツ、サンケイスポーツなど)
 - 専門誌、業界紙、機関紙、広報紙
 - 比較的新鮮な情報を入手することができるが、情報が断片的な場合がある
- 図書 / 単行本: 参考図書でも雑誌でもない図書
 - 文庫本、新書、専門書など
 - 特定分野の知識が体系的にまとまっている
 - そのかわり、できあがるのに時間がかかるために情報が古い場合も
 - 一次資料: オリジナルな内容を伝える資料
 - 二次資料: オリジナルな情報に基づいて書かれた資料(年鑑、索引、蔵書目録も含む)
- 雑誌、逐次刊行物(定期刊行物)
 - 一般雑誌(月刊誌、週刊誌など)
 - 学術雑誌(学術雑誌、論文誌、講演論文集、学術定期刊行物など)
 - 一般にいう雑誌よりも意味が広い
 - 特定分野の現状や新しい情報について、詳しい情報が得られて、内容もコンパクト
 - そのかわり、前提知識がないと、内容が読み解けない場合も
- インターネット上の情報(いつでも書き換えられてしまう、再検証ににくい)
 - マスコミのサイト(新聞やテレビなど報道機関)
 - 行政(政府や自治体)、企業・各種団体のサイト

- フリーの百科事典 (Wikipedia など)、まとめサイト、個人のサイト (日記、ブログ など)

図書館での資料の分類

- 日本十進分類法 (NDC : Nippon Decimal Classification)
 - 資料の背に張られたシールに書かれている番号
 - 資料のテーマ (主題、分野) ごとに分かれている
(例) 芸術 → スポーツ、体育 → 球技 : 「783」

インターネットで資料を探す

大学図書館のサイトから利用できるものもありますから、チェックしておきましょう。なお、有料サービスのため同時アクセス数が制限されているものもあります。

実際にいくつかのサービスにアクセスしてみましょう。

1. 全国のOPAC (蔵書カタログ) の検索

- 大学のOPAC (兵庫大学 : <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/lib/>)
- Webcat plus (国立情報学研究所 : <http://webcatplus.nii.ac.jp/>)
- NDL-OPAC (国立国会図書館 : <http://opac.ndl.go.jp/>)
- カーリル (日本最大の図書館検索サイト : <http://calil.jp/>)

2. 書店や古書店のデータベース

- Books.or.jp (日本出版協会 : <http://www.books.or.jp/>)

3. 雑誌記事検索

- NDL-OPAC の雑誌記事検索 (国立国会図書館 : <http://opac.ndl.go.jp/>)
- ジャパンナレッジ・プラス (ネットアドバンス : <http://www.jkn21.com/top/corpdisplay>)

4. 文献の題目・著者・本文などで検索

- CiNii 論文情報ナビゲータ (国立情報学研究所 : <http://ci.nii.ac.jp/ja>)
- Google Scholar (Google : <http://scholar.google.co.jp/>)

5. 電子ジャーナル

- J-STAGE (科学技術振興機構 : <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)
- ScienceDirect (エルゼビア : <http://www.sciencedirect.com/>)
- 医中誌Web (医学中央雑誌刊行会 : <http://login.jamas.or.jp/>)

6. 白書、統計資料など

- 情報通信白書 (総務省 : <http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>)
- 統計調査結果 (e-Gov 電子政府の総合窓口 : <http://www.e-gov.go.jp/link/statistics.html>)

資料を探すときに一番手っ取り早いのは「知っている人に聞くこと」ですが、自分でできることも多くあります。自力で資料や情報を探すときに、心がけることや、工夫するとよいことを考えてみましょう。

参考文献

- 学習技術研究会編著「知へのステップ 改訂版」, くろしお出版 (2006.10)
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」, 専修大学出版局 (2006.04).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).